

【無視された「ワーク・シェア」の提案】

乗員組合は解雇を回避する為に、解雇が強行される2010年12月31日ぎりぎりまで、経営に対して『ワーク・シェア協定』の提案を続けました。その提案は三度に渡り、経営の受け入れやすい形に修正が加えられ、会社の削減数をも満たす提案となっていました。しかし、会社はそれらの提案を具体的に検討することもなく、実現に向けた交渉にも応じる事ありませんでした。“解雇を回避する努力は最後の最期まで尽くされなければならない”という整理解雇の基本原則は経営によって無視されたのでした。